

2025年度芸術学部研究費(個人)研究課題一覧

No.	学 科	資 格	氏 名	専門領域	研究課題	研究期間
1	写真	教授	秋元 貴美子	写真表現(作品制作)・写真教育研究(調査研究)	作品制作:「記憶」 土地の記憶と聖地の条件の探究に基づいた写真表現を考える	7~9
2	写真	教授	佐藤 英裕	写真芸術学・現代写真	媒体としての写真の表現構造の考察、及びその実践としての制作活動	7
3	写真	教授	田中 里実	写真技術史	19世紀の写真技法のネガポジ法を中心とした技術的復元に関する研究	7
4	写真	教授	西垣 仁美	写真芸術、写真表現研究	近・現代の写真表現と制作技術についての研究	7
5	写真	教授	服部 一人	銀塩写真	大判黒白銀塩プリントにおけるデジタルインターネガと従来型プリントの比較研究	6~7
6	写真	准教授	穴吹 有希	写真表現	薄和紙・金属箔をもちいた大判の作品制作と技法研究	7~9
7	写真	准教授	GOTO AKI	写真表現(作品制作)	日本の自然風景をモチーフとした作品制作と表現領域の拡張	7~9
8	写真	准教授	鈴木 麻弓	写真表現	写真におけるストーリーテリングの成果を出す方法	6~7
9	写真	准教授	鳥海 早喜	写真史・写真表現	金丸重嶺によるダゲール・ニエプス研究に関するフィールドワーク調査	7
10	写真	専任講師	八木 元春	現代写真表現・建築写真	建築、地域性の結びつきから発生する「人の暮らし」の考察。	6~8
11	写真	助教	小池 雄之	デジタル画像の編集、インクジェットプリントを用いたファインプリント	デジタルアプリケーションを使ったファインプリント	7~8
12	映画	教授	大谷 尚子	映画演技	演技者にとっての歯列矯正の必要性	6~8
13	映画	教授	奥野 邦利	メディアアート	メディア環境の変化とメディアアートの展開について	6~7
14	映画	教授	上倉 泉	映画技術(録音)	Magnetic Tape Alert(並行して作品制作および研究)	7
15	映画	教授	古賀 太	映画史	ヌーヴェル・ヴァーグの思想的観点からの再検討	7~8
16	映画	教授	齊藤 裕人	映画表現研究	映画の宣伝用スチル写真のデータベース化	7~9
17	映画	教授	清水 和貴	映画演出・映画編集	映画(映像)の演出・編集について(その3)	6~8
18	映画	教授	志村 三代子	映画史	日本映画におけるアダプテーション、とりメイクの歴史的展開と女性表象の変遷	7~9
19	映画	教授	増田 治宏	映画撮影	フィルムを使用したHDR撮影についての研究	5~7
20	映画	教授	松島 哲也	映画演出	内閣府映画戦略企画委員会に関する研究	7
21	映画	准教授	芦谷 耕平	映像・アニメーション	手描きと実写、CGI、生成AIを使用した、短編アニメーション映像作品の制作	7~8
22	映画	准教授	穴澤 勇樹	映画撮影	動画におけるフルサイズセンサー、Super35mmセンサー、4/3型イメージセンサーの比較	7~8
23	美術	教授	飯田 竜太	現代美術(彫刻、インスタレーション)	①映像を用い彫刻的手法を施した視覚芸術の研究。 ②文字・本・紙などを素材とした彫刻作品の研究。	7
24	美術	教授	笹井 祐子	版画・絵画	アートの生成 -祭りから-	7
25	美術	教授	鞍掛 純一	彫刻	彫刻における場と間の問題について	7
26	美術	教授	田中 修二	近現代日本美術史	彫刻に関わる触覚性についての研究	7
27	美術	教授	福島 唯史	絵画、特に油彩画	油彩画の地塗塗料とマティエール	7
28	美術	准教授	坪井 麻衣子	絵画	揺れが伝播する絵画 -心的リアリティのかたち-	7~9
29	美術	専任講師	大橋 朋美	絵画 版画(凹版画)	記憶を記録する -時間の経過を版で表現する-	6~7
30	美術	助教	金子 貴富	絵画(油彩画)	油彩画の支持体において、布貼りに用いる繊維の種類による作品画面、描画への影響について。	7
31	美術	助教	古井 彩夏	彫刻	「熱を与えた鉄とステンレス」鉄とステンレスの素材とかたちの研究	7~9

No.	学 科	資 格	氏 名	専 門 領 域	研 究 課 題	研 究 期 間
32	音楽	教授	大寺 雅子	臨床心理学、学生相談、音楽療法	芸術系大学におけるハラスメントに対する教職員の認識に関するインタビュー研究	5~7
33	音楽	教授	川上 央	情報音楽	生成AIを活用した音のデザイン	7
34	音楽	教授	三戸 勇氣	情報音楽	演奏動作から演奏技法を分析するための多角的な研究	7
35	音楽	准教授	小林 純生	芸術実践論関連	図形楽譜の近年の可能性とその探求	7~9
36	音楽	准教授	駒澤 大介	音響デザイン	イヤフォンでのイマーシブオーディオシステム	7
37	音楽	助教	上村 さや香	情報音楽・サステナブル(森林)	国産木材ギターを通じて森林循環を聴衆に伝え、木材利用促進に貢献する考察	7
38	文芸	教授	上田 薫	文芸史と文芸創作	江戸戯作文学から近代文学への移行期における物語と言語表現の変化についての研究—森鷗外と島崎藤村を中心に—	7
39	文芸	教授	ソコロワ山下 聖美	日本近現代文学	露国皇太子ニコライの日本訪問における足跡—神戸を中心に—	7
40	文芸	教授	谷村 順一	日本文学	文芸同人雑誌の現代日本文学研究基礎資料としての利用およびその方法についての考察	5~7
41	文芸	教授	楊 逸	文学・文芸創作	ヘミングウェイ文学に見る「異文化の超越」	6~8
42	文芸	准教授	上坪 裕介	近現代日本文学	吉行淳之介の文学的特質の探求～庄野潤三との関連性を中心に	7~9
43	文芸	准教授	小神野 真弘	ジャーナリズム、メディアスタディーズ	犯罪者に対するステレオタイプ形成における犯罪報道の影響	6~8
44	文芸	准教授	丹 一信	図書館情報学 情報検索 レファレンスサービス	図書館サービス再考: 転換期における図書館サービスを再考察する	5~7
45	文芸	専任講師	伊藤 景	日本のマンガ作品、石ノ森章太郎研究	石ノ森章太郎「幽霊船」についての作品研究	7~9
46	文芸	専任講師	高野 和彰	日本近代文学、探偵小説	探偵小説における社会性反映の過程における多角的視座からの考察	7~9
47	文芸	専任講師	山下 洪文	戦後詩、戦後文学、実存哲学、批評	精神医学と実存主義文学の包括的研究への序章—二一世紀の実存のありかを求めて—	6~8
48	演劇	教授	奥山 緑	舞台芸術マネジメント 公共劇場経営	日本の伝統芸能を生かしたフランス現代演劇創作の潮流	7
49	演劇	教授	小林 直弥	舞踊学	日本の舞踊動作の原点と東大寺修二会の身体表現からの影響についての研究—共通性とその可能性の調査—	6~8
50	演劇	教授	松永 雅彦	西洋舞踊 舞踊創作と表現	舞踊を媒体とする空間における作品プログラムによるその効果	7
51	演劇	教授	山口 英峰	舞台芸術実践論・プロダクションマネジメント	教育機関が持つ劇場の社会的役割についての研究	6~8
52	演劇	准教授	松山 立	演劇学	戯曲講読における社会的包摂機能についての考察	5~7
53	演劇	専任講師	青木 拓也	舞台美術・舞台芸術教育	舞台芸術・舞台美術を活用した子供向けワークショップの研究	6~7
54	演劇	専任講師	南 香織	舞台照明デザイン	上演芸術における「視覚情報デザイン」の可能性に関する研究	7~9
55	演劇	助教	今井 春日	舞台音響・舞台芸術実践論	舞台芸術における合理的配慮の提供と舞台技術者の参画について	7
56	演劇	助教	大池 容子	現代演劇(劇作・演出)	子ども向け演劇における「現代口語演劇理論」の有用性を探る	7
57	放送	教授	安部 裕	放送技術・映像技術	ロケ機材の変遷と撮影・編集技術の変化がもたらすテレビ番組における技術面への影響	5~7
58	放送	教授	茅原 良平	ラジオ制作	360 Reality Audioを活用したpaperdome(ペーパードーム)のコンテンツのための音響制作	7
59	放送	教授	中町 綾子	放送文化、放送番組(テレビドラマ)、脚本研究	テレビドラマが映し出したコロナ禍とアフターコロナ	5~7
60	放送	専任講師	澤田 顕一	放送技術・音響技術	イマーシブフォーマット対応音楽コンテンツがもたらす、テレビ番組制作に与える影響	5~7
61	放送	助教	石毛 みさこ	放送社会学	SNSを使った日常の中にある新しい形のエンターテインメントの構築について	7

No.	学 科	資 格	氏 名	専 門 領 域	研 究 課 題	研 究 期 間
62	デザイン	教授	池田 光宏	アートプロジェクト、グラフィックアート	オルタナティブなアート／デザイン・プロジェクトの研究と実践2	6～8
63	デザイン	教授	笠井 則幸	コミュニケーションデザイン	身体ムーブメントから生まれる視覚表現研究 一線、形態、陰影表現から考える造形研究一	5～7
64	デザイン	教授	佐藤 徹	インダストリアルデザイン プロダクト デザイン (エコデザイン・サステナブルデザイン)	環境型社会対応製品の研究 その4「エコ素材を使用した3D出力の研究」	7～9
65	デザイン	教授	長瀬 浩明	プロダクトデザイン エルゴノミックデザイン	災害弱者のための防災支援システムに関する研究	7～9
66	デザイン	教授	森 香織	基礎デザイン、デザイン教育、構成	基礎デザイン教育の総まとめ	7
67	デザイン	准教授	石田 純之助	スペースデザイン	構造システムを用いた立体構成	7
68	デザイン	准教授	布目 幹人	広告デザイン	ブランド構築におけるコミュニケーションデザインとパブリックリレーションの役割とその実践	5～7
69	デザイン	専任講師	大河原 健太	イラストレーション(版画表現)	グラフィックデザイン、イラストレーション表現の歴史研究と実践②	6～8
70	デザイン	専任講師	片桐 祥太	デザイン方法論 プロダクトデザイン	生成AIとの視覚的対話を用いた協働アプローチによるアイデアスケッチ手法の探求	7～8
71	デザイン	専任講師	谷口 聡子	建築デザイン	建築設計の現代意匠の研究(2)	7～8
72	芸術教養	教授	小沢 徹	運動生理学、健康科学	芸術活動に伴う生理反応の変化	5～7
73	芸術教養	教授	久保 陽子	イギリスとアイルランドの文学・文化	19世紀女性作家の文学における「ピクニック」描写と自然体験の意義 ～ドロシー・ワーズワースとネリー・ウィートンを中心に～	7
74	芸術教養	教授	櫻井 歆	教育学	道徳教育の現代的課題とその哲学的背景	5～7
75	芸術教養	教授	高久 暁	芸術学(音楽学)・美学・アーカイブズ学	20世紀西洋芸術音楽史を築いた音楽家たちの「記念年の森」に向けて・2	7
76	芸術教養	教授	山本 守和	情報学	数値計算結果を用いた可視化法に関する研究	5～7
77	芸術教養	教授	吉野 大輔	心理学	芸術がもたらす心の健康: 北欧・北米過疎地域の調査と日本への活用	7
78	芸術教養	准教授	加藤 亮介	教育工学	産学連携型授業における協働的姿勢と企業講師支援の効果に関する研究	7
79	芸術教養	専任講師	齋藤 山人	18世紀フランス文学・思想	近現代フランスにおける父権の表象と視覚芸術	6～8
80	芸術教養	専任講師	鈴木 優	教育思想史	ドイツの芸術教育・読書教育に関する思想史的研究	7～9
81	芸術教養	専任講師	小堀 裕子	公法学・憲法	「司法」の判断について	7
82	芸術教養	専任講師	松浦 恵美	英米文学・比較文学	ヘンリー・ジェイムズを中心とした19世紀後半以降の英米文学の研究	7～9
83	芸術教養	専任講師	山崎 亮介	アメリカ文学	1930年代の女性作家によって描かれたアメリカ文学作品とマルクス主義フェミニズム理論との関係性にかんする一考察	7